

新生児聴覚スクリーニング検査及び相談支援の手引き書作成に関するワーキンググループの設置について

1 設置の趣旨

- 聞こえの課題に対しては、支援を必要とする児の早期発見、早期療育・医療、保護者に対する相談支援だけでなく、児のライフステージにより支援機関が多様となっていくことから、発達課題に応じた切れ目ない支援体制の構築を目指すことが重要である。
- そのため、京都府において、医療、保健、福祉、療育、教育各関係者がそれぞれの役割を踏まえつつ、新生児聴覚検査の推進及び相談体制の充実について検討するための「新生児聴覚スクリーニング検査及び相談支援に関する検討会」を令和2年度から開催。
- 上記検討会のワーキンググループとして、新生児聴覚スクリーニング検査及び相談支援の手引き書案を、医療や療育等の専門分野における委員協議により作成。

2 検討事項

<第1回>

- ・ 全体構成(作業チームの役割、方向性)について
- ・ 各機関の役割と情報連携のあり方について
- ・ 担当する作業について

<第2回以降>

- ・ 検討会の意見を踏まえた手引き書案の作成について
- ・ 手引き書の活用方法について 等

3 今後の進め方(案)

- ・ 令和3年5月21日 第1回開催
- ・ 令和3年度に3回程度開催